



ASIC クラブニュース (第8号)

平成25年5月11日

淡路少年少女発明クラブ

編集委員 西川 玉士 森岡 達

☆今年度の主たる活動状況 (4月以降)

- ・平成25年4月 6日 (土) 淡路少年少女発明クラブ開始式 開始式 (体験工作①)
- ・平成25年4月14日 (日) 科学技術週間にちなむ記念講演
「子どもたちに興味を持たせるテクニック」
- ・平成25年4月20日 (土) 科学技術週間にちなむ公開発明教室 (体験工作②)

☆開始式・体験工作①「図面の描き方・工作用紙で箱を作る 4月6日 (土)



開始式終了後、まず始めにものづくりの基礎である図面の描き方を学びました。これからの活動に生かしていきます。←



15人のクラブ員と運営委員・指導員が記念撮影をしました。みんな良い笑顔です。↓

① サイコロで箱のしくみを知りました。↑
② 紙でサイコロを作りゲームもしました。↓



☆ 科学技術週間にちなむ記念講演

「子どもたちに興味を持たせるテクニック」 4月14日 (日)



例年、科学技術週間にちなんで公開発明教室を児童対象(小学生)に実施してきました。今年度は、それに加え保護者や指導員・運営委員などを対象に「子どもたちに興味を持たせるテクニック」と題して、知的教育講演を実施しました。

講師には神戸市立青少年科学館のサイエンスコーディネーター 斎藤 賢之輔先生をお迎えして、「子どもたちに身近な物で、科学への興味を高める指導方法」を分かりやすく指導していただきました。とても楽しく、有意義な2時間でした。今後の指導に生かしていきたいと考えています。



記念講演会に参加したお母さんや子どもたちを巻き込んで色々な科学実験をしていただきました。楽しくて、2時間があっという間に過ぎた感じがしました。

←手回し発電機を使って色々な電気実験をしました。また、発電機にも色々なタイプがあることや活用方法も学びました。↓

講演の最後に、みんなでゲームもでき、照明も楽しめる電灯回路を作りました。スイッチの工夫次第で、もっと楽しい物になっていきますよ。考えるのはあなたです。



☆ 科学技術週間にちなむ公開発明教室・体験工作②「手作りカメラの作製」

4月20日(土)



↑小学3～6年生の児童34名とその保護者、指導員合わせて70名の大勢の方が参加してくれました。ありがとうございました。
廣瀬指導員が主幹となり、身近な材料を使った「手作りカメラ」を製作しました。

←「手作りカメラ」を製作した親子。さて、うまくカメラで写真が撮れるでしょうか。楽しみですね。後日、撮影作品の募集も予定しています。応募して下さいね。

「手作りカメラ」で写した学習小3年濱田真太郎君の作品です。早速に送ってあげました。←

☆今後の主な予定

- ・平成25年5月11日(土)
- ・平成25年5月25日(土)
- ・平成25年6月8日(土)

アイデア工作案(廣瀬指導員主担当)発明について・案作り基礎工作②(西川指導員主担当)木を使った工作・工具の使い方基礎工作③電気工作の基礎(森岡指導員主担当)LED点灯回路